



園だより

2023年11月1日発行
蒲田らびっと保育園

さまざまな色の葉が舞い落ち、秋も深まる頃となりました。子どもたちは、それを嬉しそうに集めたりちぎったりして、それぞれの遊びを見つけ楽しんでます。落ち葉を踏んだときの感触も「フワフワ・フカフカ」から「カサカサ・サクサク」へと変わりました。そんな小さな変化をおとなが言葉で伝えていくことで、子どもたちもその感触と音に興味をもち、秋の終わりを体全体で感じているようです。冬はもうすぐそこまで近づいています！

さて、寒くなるとつい多めに着込みがちですが、子どもは体温が高く、また日中走りまわって遊びますので、おとなが思っているよりも汗をかきます。おとなより1枚少ない服装を心がけましょう！まず、肌着をつけて体を冷やさないことが大切です。次に、厚手の服を1枚着るより素材の異なる薄手の服を2枚重ねる方が空気の層ができ暖かくなり、室温に合わせて脱ぎ着しやすくなります。屋外で着るジャンパーなどは、袖口や首元がピッタリ閉じているものを選びましょう。

保育室の中は、子どもたちが過ごしやすい環境に室温を設定しています。裏起毛の服は、汗を吸収しにくく、暑くなりすぎてしまうので避けていただきたいと思います。人間には体温を調節する能力があります。薄着で過ごすことにより皮膚が外気に触れ、寒さを知ることで適応能力を高め、体に備わっている調整機能も高くなるのだそうです。『風邪をひきにくい丈夫な体づくり』のためにも、無理のない範囲で薄着を心がけるようにしましょうね！



今月の行事

- ☆1日(水)…身体測定
 - ☆11日(土)…親子でモグモグタッチ (ゆり組のみ)
 - ☆15日(水)…避難訓練
 - ☆16日(木)…誕生会
 - ☆21日(火)or22日(水)…職場見学
 - ☆21日(火)…園児健康診断
- ※毎週水曜日は、かみしばい会です。



安心して保育園生活を送るために！

本格的な冬を迎えるにあたり、これまで以上に感染症やインフルエンザには警戒しなければいけませんね。保育園はたくさんのお子さんが集団で生活する場です。長時間の集団生活におけるお子さん自身の負担を避けるため、また他のお子さんへの感染を防ぐためにも、普段と違う様子がみられるときには無理をせず、ご家庭で静養したり早めに受診をするようお願いいたします。

- ★平熱より高い熱がある、咳、鼻水がひどく出るなど、いつもと違う症状がみられる場合には、登園を控えてください。

- ★熱だけではなく、咳がひどく出ている、下痢や嘔吐の症状がみられる、平熱であってもぐったりしている等、**集団生活が難しいと判断したときにはお迎えをお願いいたします。**ご理解、ご協力をお願いいたします。
- ★**座薬を使用しての登園はできません。**一時的に熱をさげても、薬がきれるとまたあがってしまいます。

入園のしおりには、園生活における大事なルールを記載しています。上記内容を含む体調不良時の対応等も書いてありますので、いつでも読み返すことができる場所で保管し、必要な時に確認をお願いいたします。

保育目標

《ゆり組》

- ①秋の自然に触れ、季節の移り変わりを感じる。
- ②十分体を動かして遊ぶことを楽しむ。

《もも組》

- ①保育士の仲立ちのもと、友だちと関わりをもつ
- ②戸外遊びや散歩をするなかで、秋を感じながらさまざまな発見をする。
- ③衣服の着脱を自分でしようとしてみたり、できることを喜ぶ。

園児健康診断のお知らせ

今年度2回目の園児健康診断を21日(火)に行ないます。健診当日お休みされてしまうと後日保護者様に囑託医まで連れて行っていただくこととなります。お休みをしないようにしましょうね。

